

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているといわれるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

第六十八回 大磯西行祭募集要項

■献詠俳句

【題】雑詠二句まで
(未発表の作品に限る)
【部門】一般の部・小学生の部・中学生の部・高校生の部

■献詠短歌

【題】自由二首まで
(未発表の作品に限る)
【部門】一般の部・小中学生の部・高校生の部

■献詠俳句・短歌共通

【募集期間】令和六年十月一日(火)から十二月十八日(水)まで(必着)

■応募方法

所定の応募用紙または原稿用紙に楷書で作品・住所氏名又は雅号(ふりがな付記)・電話番号・小中高生は学校名と学年を必ず記入のこと

■電子投稿

鳴立庵HP内「西行祭献詠俳句・短歌募集ページ」より

■応募先

〒255-10003
神奈川県中郡大磯町大磯1289
鳴立庵西行祭 献詠俳句・短歌募集係

今月の俳句 1

霜下りてガラスを伝う小さき手

徳島県立脇町高等学校 日浦 和美

今月の俳句 2

茶とワイン暖炉の前で今日のこ

徳島県立脇町高等学校 仁尾 夏子

今月の短歌

君の髪、腕、足、瞳持っている人でも君にはなれなかった

滋賀県立膳所高等学校 池田 玲亜

ある人に好意を寄せると、その人の何処が好きなのだろうと理由を考えることがあります。漠然と好きでは不安定ですから、理屈を考える。「髪」か「腕」か「足」か「瞳」か。考えるうちに、「君」は部分を置き換えても代わりがないのだと気付いたというのです。恋心の真髄を言い当てています。

(西行祭選者 今井 恵子)



講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
寄席	10月12日(土)	開場13:00 開演13:30	演目 開口一番、化物使い、夢の酒 演者 桂 三十助・三笑亭 空巢 定30人(要予約) 費800円(入庵料込)
伝筆	10月27日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人(要予約) 費3,850円(材料費込)
座禅	10月27日(日)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 持 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人(要予約) 費500円(入庵料込)
花の会	10月30日(水)	14:00~16:00	秋をいろどるナチュラルアレンジ 講 府川 葉月氏 定15人(要予約) 費2,500円(入庵料込) 持 はさみ、タオル、持ち帰り袋
茶と遊ぶ	11月2日(土)	10:00~正午	急須の魅力再発見~常滑焼急須で楽しむお茶~ 講 高野 幸代氏 定10人(要予約) 費2,000円(お茶菓子付き・入庵料込)
折り紙ツリーづくり	11月9日(土)	10:00~正午	折り紙でクリスマスツリーを作ろう! 定15人(要予約) 費500円(材料・入庵料込) 持 はさみ、のり、持ち帰り袋